

第15回佐賀支部学術集会

学術集会会長：済生会唐津病院院長 園田孝志



会場風景

第15回佐賀支部学術集会は、2018年2月24日(土)、唐津市文化体育館にて開催されました。メインテーマを「地域包括ケアシステムの深化に向けて」としました。県内から

185名の参加と21題の演題、5題のクリティカルパス展示をいただきました。

特別講演は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)の岩名礼介社会政策部長より「地域包括ケアとは何をすることか」と題して、地域の中にある資源を標準的にまとめていくことの大切さなど、興味深い講演をいただきました。

また、シンポジウムとして「地域包括ケアを支える医療多職種の仕事と役割」をテーマに、主に急性期病院のMSW、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、看護師の5名がそれぞれの立場での関わりについて発表し、討議をしていただきました。

この学術集会が、地域包括ケアシステムの本格的な深化の一助になれば幸いです。

開催に当たり各方面の方々からご支援ご協力ご助言をいただき、無事開催できましたことに厚く御礼申し上げます。

第17回香川支部学術集会

学術集会会長：JA香川厚生連滝宮総合病院副院長 井上秀幸

JA香川厚生連屋島総合病院病院長補佐 斉藤 誠

2018年3月3日(土)、JA香川厚生連屋島総合病院2階講堂において、第17回香川支部学術集会を開催いたしました。今回は、2018年度が6年に1度の診療報酬と介護報酬の同時改定年度であり、2025年問題に向けての医療・介護制度改革の中にあつて、重要な節目の年となることから、「診療・介護報酬改定を踏まえた多職種協働の在り方」をメインテーマといたしました。

一般演題では「チーム医療」、「医療安全」、「感染管理」、「人材育成・教育」、「地域医療連携」、「クリティカルパス・その他」の6セクションで合計25題の発表が行われました。また、特別講演では石川県の医療法人社団和楽仁芳珠記念病院理事長の仲井培雄先生から「最大で最強の地域包括ケア病棟」という演題でご講演いただきました。

当日はお忙しい中、県内外の医療機関から104名のご参加をいただき、大盛況のうちに終了いたしました。

ご協力をいただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

第20回熊本支部学術集会

学術集会会長：一般社団法人天草都市医師会立天草地域医療センター

院長 原田和則

2018年3月17日(土)、天草市民センターにおきまして、「地域でささえる医療と介護」をテーマに第20回熊本支部学術集会を開催いたしました。

シンポジウム1では「地域包括ケアシステムの構築に向かって」、シンポジウム2では「医療と介護の現場に於けるチーム医療の実践」という内容で総勢9名の先生方にご登壇いただき、当学術集会のテーマに則した大変有意義な発表・ディスカッションが行われました。

また、ランチョンセミナーにおきましては「自分自身が望む場所で生きる」「増え続ける認知症は骨粗鬆症を含めた内科疾患と深く関連する」「経営支援と医療安全の推進を目指した総合診療支援システムのご提案」の3題の興味深いご講演をいただきました。

一般口演は4会場に分かれ、16セッション95題、その他にもポスター展示、クリティカルパス等、全体として130題という多くの発表・意見交換が行われました。今回の学術集会は晴天にも恵まれ、多職種316名のご参加をいただき、無事に学術集会を終了することが出来ました。これも偏に、ご多忙の中ご参加いただきました皆様方の多大なるご支援の賜と深く感謝申し上げます。

講習会開催案内

2018年度医師事務作業補助者指導者養成講習会

テーマ：講義とワークショップによるチームマネジメント実践力の涵養

本学会では、2010年度より医師事務作業補助者の養成講習会を開催してきたところですが、学会会員の希望により今年度も、医師事務作業補助者の指導者を養成するための講習会を下記要領で開催することとなりました。本講習会は、指導者として補助者を育成し、またチームのリーダーとして必要な、書類・資料作成や、登録・統計の知識と技術、マネジメント、業務連携の手法、さらに今後の展望について、講義・演習とワークショップを通じて修得し、現場で役立つ実践力を養うことを目的としています。

全課程受講者には、修了証を交付します。実務研修のために定員が限られていますので、お早めにお申込み下さい。

なお、本講習会は医師事務作業補助者の資格取得のための講習会ではありませんので、ご注意下さい。

・日時 2018年10月20日(土)、21日(日)、
12月15日(土)、16日(日)